加古川は、舟流道山地から瀬戸内海の播磨灘に流れ込む、兵道県でいちばん 大きな川です。加古川流域には、激しい流れが岩の上を走る「闘竜灘」など 数多くの奇治的見られます。河口にはやエドハゼ、ハクセンシオマネキ等の 生物の重要なすみかとなっている干潟・ヨシ原も見られ、豊かな首然環境に 意まれています。





西日本の流れがゆるやかできれいな別にいる魚です。えらぶたの後ろに自に似た模様があり、自が2対あるようにみえます。オスの親が卵や稚魚を敵から守ります。加古川では、主に上流部の流れの線に場所で暮くらしています。

